

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 山梨県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	北病院	3
甲府市	甲府病院	4
富士吉田市	国保市立病院	5
都留市	都留市立病院	6
山梨市	牧丘病院	7
大月市	中央病院	8
韮崎市	国保市立病院	9
北杜市	塩川病院	10
北杜市	甲陽病院	11
上野原市	上野原市立病院	12
甲州市	勝沼病院	13
身延町早川町国民健康保険病院一部組合	飯富病院	14
峡南医療センター企業団	市川三郷病院	15
峡南医療センター企業団	富士川病院	16

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名			
病院名		中央病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	809,974	
決算規模(千円)	583,045,839	
標準財政規模(千円)	268,591,078	
財政力指数	0.37341	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	180.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	-		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名			
病院名		北病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	809,974	
決算規模(千円)	583,045,839	
標準財政規模(千円)	268,591,078	
財政力指数	0.37341	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	180.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	105.1
材料費	-	-	26.1	9.8
(うち薬品費)	-	-	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	1.6
減価償却費	-	-	8.7	12.8
経費	-	-	22.1	35.3
(うち委託料)	-	-	11.7	17.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.0	2.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		103.3	101.8
医業収支比率	-		85.5	61.1
修正医業収支比率	-		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	-		91.9	68.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 山梨県	
市町村・組合名	甲府市				
病院名	甲府病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,066 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨感災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	393	59.0	59.5	59.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	11.6
計	399	58.1	58.6	59.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	11.1	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	189,591	
決算規模(千円)	85,316,489	
標準財政規模(千円)	44,849,728	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	24.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,267,212			
1 経常収益	10,261,616			
(1) 医業収益	7,654,764			
(うち修正医業収益)	7,271,566			
入院収益	4,721,217			
外来収益	2,268,056			
診療収入計	6,989,273			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	665,491			
(うち他会計負担金)	383,198			
(2) 医業外収益	2,606,852			
(うち国・都道府県補助金)	1,660,514			
(うち他会計補助・負担金)	656,846			
(うち長期前受金戻入)	240,023			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,596			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,196,505			
2 経常費用	9,194,438			
(1) 医業費用	8,697,149			
職員給与費	4,573,469	59.7	59.4	59.0
材料費	1,643,753	21.5	26.1	25.6
(うち薬品費)	789,425	10.3	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	854,328	11.2	11.8	11.2
減価償却費	379,512	5.0	8.7	8.6
経費	2,075,516	27.1	22.1	21.3
(うち委託料)	1,053,549	13.8	11.7	11.6
研究研修費	17,743			
資産減耗費	7,156			
(2) 医業外費用	497,289			
(うち支払利息)	105,271	1.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	2,067			
損益	1,067,178			
純損益	1,070,707			
累積欠損金	9,390,618			
経常収支比率	111.6		103.3	104.8
医業収支比率	88.0		85.5	87.0
修正医業収支比率	83.6		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	10.1		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	10.1		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	100.3		91.9	95.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,424,956
1 固定資産	9,750,990
(1) 有形固定資産	9,734,610
(2) 無形固定資産	2,273
(3) 投資その他の資産	14,107
2 流動資産	2,673,966
(1) 現金及び預金	510,716
(2) 未収金及び未収収益	2,062,524
(3) 貸倒引当金()	5,795
(4) 貯蔵品	106,521
3 繰延資産	-
負債合計	9,732,895
1 固定負債	5,185,449
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,581,688
(2) その他の企業債	393,973
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,200,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	9,788
2 流動負債	2,174,891
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	788,481
(2) その他の企業債	17,027
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	298,518
(6) リース債務	2,398
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	623,794
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,372,555
(1) 長期前受金	5,388,265
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,015,710
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,692,061
1 資本金	11,981,249
2 剰余金	-9,289,188
(1) 資本剰余金	101,430
(2) 利益剰余金	-9,390,618
負債・資本合計	12,424,956
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,040,044	1,040,044
資本勘定繰入	542,231	542,231
計	1,582,275	1,582,275

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	585,153	8.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	122.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	富士吉田市				
病院名	国保市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,358 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救 感 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	256	66.5	68.7	66.5
療養	50	47.3	39.4	39.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	20.0	21.0	60.5
計	310	62.8	63.3	62.1
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	9.6	10.0

設立団体の状況		
人口(人)	46,530	
決算規模(千円)	33,533,047	
標準財政規模(千円)	11,249,556	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	81.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,989,850			
1 経常収益	8,852,947			
(1) 医業収益	7,081,902			
(うち修正医業収益)	6,968,576			
入院収益	4,244,763			
外来収益	2,312,807			
診療収入計	6,557,570			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	524,332			
(うち他会計負担金)	113,326			
(2) 医業外収益	1,771,045			
(うち国・都道府県補助金)	880,906			
(うち他会計補助・負担金)	532,463			
(うち長期前受金戻入)	324,376			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	136,903			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,799,580			
2 経常費用	8,799,580			
(1) 医業費用	8,385,496			
職員給与費	4,443,517	62.7	59.4	59.0
材料費	1,781,581	25.2	26.1	25.6
(うち薬品費)	744,225	10.5	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,032,879	14.6	11.8	11.2
減価償却費	560,441	7.9	8.7	8.6
経費	1,571,876	22.2	22.1	21.3
(うち委託料)	992,217	14.0	11.7	11.6
研究研修費	19,186			
資産減耗費	8,895			
(2) 医業外費用	414,084			
(うち支払利息)	58,267	0.8	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	53,367			
純損益	190,270			
累積欠損金	482,746			
経常収支比率	100.6		103.3	104.8
医業収支比率	84.5		85.5	87.0
修正医業収支比率	83.1		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.1		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	7.2		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	93.3		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,615,087
1 固定資産	7,457,022
(1) 有形固定資産	7,454,258
(2) 無形固定資産	2,764
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,158,065
(1) 現金及び預金	1,344,272
(2) 未収金及び未収収益	1,713,680
(3) 貸倒引当金()	12,734
(4) 貯蔵品	112,847
(5) 繰延資産	-
負債合計	7,904,577
1 固定負債	4,587,467
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,561,015
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,494,797
(7) 一時的借入金	531,655
2 流動負債	1,122,683
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	307,475
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	213,181
(6) リース債務	126,136
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	460,285
(9) 前受金及び前受収益	15,606
3 繰延収益	2,194,427
(1) 長期前受金	10,450,224
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,255,797
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,710,510
1 資本金	3,148,272
2 剰余金	-437,762
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-437,762
負債・資本合計	10,615,087
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,057,947	645,789
資本勘定繰入	194,211	194,211
計	1,252,158	840,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	都留市		
病院名	都留市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	8,695 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	14	指定病院の状況	救災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	140	56.1	56.9	55.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	56.1	56.9	55.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	14.3	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	31,016	
決算規模(千円)	19,209,753	
標準財政規模(千円)	9,561,413	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,899,355			
1 経常収益	3,850,503			
(1) 医業収益	2,518,368			
(うち修正医業収益)	2,430,244			
入院収益	1,159,549			
外来収益	1,125,082			
診療収入計	2,284,631			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	233,737			
(うち他会計負担金)	88,124			
(2) 医業外収益	1,332,135			
(うち国・都道府県補助金)	209,307			
(うち他会計補助・負担金)	599,473			
(うち長期前受金戻入)	77,181			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	48,852			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,885,838			
2 経常費用	3,829,433			
(1) 医業費用	3,140,552			
職員給与費	1,781,614	70.7	59.4	67.0
材料費	513,522	20.4	26.1	18.2
(うち薬品費)	203,105	8.1	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	289,407	11.5	11.8	9.4
減価償却費	293,930	11.7	8.7	10.2
経費	545,076	21.6	22.1	28.8
(うち委託料)	316,266	12.6	11.7	13.2
研究研修費	3,169			
資産減耗費	3,241			
(2) 医業外費用	688,881			
(うち支払利息)	5,460	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	56,405			
損益	21,070			
純損益	13,517			
累積欠損金	747,876			
経常収支比率	100.6		103.3	104.5
医業収支比率	80.2		85.5	80.1
修正医業収支比率	77.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	17.9		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	27.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	17.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	82.6		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,822,083
1 固定資産	3,694,377
(1) 有形固定資産	3,694,377
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,127,706
(1) 現金及び預金	360,399
(2) 未収金及び未収収益	606,544
(3) 貸倒引当金()	6,165
(4) 貯蔵品	166,928
3 繰延資産	-
負債合計	3,351,551
1 固定負債	1,642,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	917,082
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	724,935
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	726,611
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	229,244
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	139,972
(6) リ一ス債務	357,395
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	982,923
(1) 長期前受金	2,784,451
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,801,528
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,470,532
1 資本金	1,415,723
2 剰余金	54,809
(1) 資本剰余金	367,613
(2) 利益剰余金	-312,804
負債・資本合計	4,822,083
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	644,930	687,597
資本勘定繰入	140,904	62,045
計	785,834	749,642

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	山梨市		
病院名	牧丘病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	1,458 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	3	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	30	53.5	53.9	50.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	53.5	53.9	50.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.7	18.6	18.3

設立団体の状況		
人口(人)	33,435	
決算規模(千円)	24,331,963	
標準財政規模(千円)	10,651,324	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	42.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	34,436			
1 経常収益	34,436			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	34,436			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	34,042			
(うち長期前受金戻入)	394			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	34,045			
2 経常費用	34,045			
(1) 医業費用	4,042			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	4,042	-	8.7	12.7
経費	-	-	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	30,003			
(うち支払利息)	3	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	391			
純損益	391			
累積欠損金	35,756			
経常収支比率	101.1		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	98.9		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	98.9		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	1.2		91.9	67.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	426,778
1 固定資産	391,536
(1) 有形固定資産	391,536
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	35,242
(1) 現金及び預金	35,242
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,116
1 固定負債	480
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	480
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	160
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	160
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,476
(1) 長期前受金	5,776
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,300
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	422,662
1 資本金	458,418
2 剰余金	-35,756
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-35,756
負債・資本合計	426,778
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	4,042	34,042
資本勘定繰入	525	525
計	4,567	34,567

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	大月市		
病院名	中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	22,512	
決算規模(千円)	13,540,287	
標準財政規模(千円)	7,874,902	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.3
	将来負担比率(%)	85.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	-	-	8.7	10.2
経費	-	-	22.1	28.8
(うち委託料)	-	-	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	-		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	韮崎市		
病院名	国保市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	10,272 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	22	指定病院の状況	救 災 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	137	61.8	62.5	62.2
療養	34	54.8	64.4	71.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	171	60.4	62.9	64.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.5	17.1	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	29,067	
決算規模(千円)	16,540,169	
標準財政規模(千円)	8,833,335	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	86.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	64.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,511,103			
1 経常収益	2,511,103			
(1) 医業収益	2,169,558			
(うち修正医業収益)	2,069,825			
入院収益	1,291,305			
外来収益	713,752			
診療収入計	2,005,057			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	164,501			
(うち他会計負担金)	99,733			
(2) 医業外収益	341,545			
(うち国・都道府県補助金)	132,226			
(うち他会計補助・負担金)	100,588			
(うち長期前受金戻入)	69,657			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,702,254			
2 経常費用	2,691,934			
(1) 医業費用	2,589,406			
職員給与費	1,516,667	69.9	59.4	67.0
材料費	432,242	19.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	181,587	8.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	224,560	10.4	11.8	9.4
減価償却費	144,598	6.7	8.7	10.2
経費	487,222	22.5	22.1	28.8
(うち委託料)	292,054	13.5	11.7	13.2
研究研修費	5,012			
資産減耗費	3,665			
(2) 医業外費用	102,528			
(うち支払利息)	8,050	0.4	1.0	1.1
(3) 特別損失	10,320			
損益	-180,831			
純損益	-191,151			
累積欠損金	659,005			
経常収支比率	93.3		103.3	104.5
医業収支比率	83.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	79.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	9.2		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	85.8		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,313,061
1 固定資産	1,601,431
(1) 有形固定資産	1,269,102
(2) 無形固定資産	2,263
(3) 投資その他の資産	330,066
2 流動資産	711,630
(1) 現金及び預金	250,260
(2) 未収金及び未収収益	447,271
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	14,099
3 繰延資産	-
負債合計	1,883,266
1 固定負債	1,230,809
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	666,662
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	542,931
(7) 一 負債	21,216
2 流動負債	370,150
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	105,081
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	89,020
(6) リ 一 負債	13,660
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	161,477
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	282,307
(1) 長期前受金	949,495
(2) 長期前受金収益化累計額()	667,188
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	429,795
1 資本金	602,839
2 剰余金	-173,044
(1) 資本剰余金	203,655
(2) 利益剰余金	-376,699
負債・資本合計	2,313,061
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	200,321	200,321
資本勘定繰入	59,811	59,811
計	260,132	260,132

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	北杜市				
病院名	塩川病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,228 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	54	83.8	85.2	78.3
療養	54	81.6	84.6	82.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	108	82.7	84.9	80.2
平均在院日数(一般病床のみ)		21.1	19.4	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	44,053	
決算規模(千円)	31,069,943	
標準財政規模(千円)	19,822,955	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	83.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,070,256			
1 経常収益	2,021,687			
(1) 医業収益	1,476,735			
(うち修正医業収益)	1,406,267			
入院収益	881,356			
外来収益	437,416			
診療収入計	1,318,772			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	157,963			
(うち他会計負担金)	70,468			
(2) 医業外収益	544,952			
(うち国・都道府県補助金)	7,597			
(うち他会計補助・負担金)	106,745			
(うち長期前受金戻入)	107,898			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	48,569			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,114,190			
2 経常費用	2,114,190			
(1) 医業費用	1,680,346			
職員給与費	904,530	61.3	59.4	67.0
材料費	253,269	17.2	26.1	18.2
(うち薬品費)	104,930	7.1	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	148,098	10.0	11.8	9.4
減価償却費	158,695	10.7	8.7	10.2
経費	358,282	24.3	22.1	28.8
(うち委託料)	163,801	11.1	11.7	13.2
研究研修費	1,509			
資産減耗費	4,061			
(2) 医業外費用	433,844			
(うち支払利息)	28,138	1.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-92,503			
純損益	-43,934			
累積欠損金	41,253			
経常収支比率	95.6		103.3	104.5
医業収支比率	87.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	83.7		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	87.2		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,152,787
1 固定資産	3,540,303
(1) 有形固定資産	3,408,435
(2) 無形固定資産	531
(3) 投資その他の資産	131,337
2 流動資産	3,612,484
(1) 現金及び預金	2,296,190
(2) 未収金及び未収収益	1,265,932
(3) 貸倒引当金()	16,943
(4) 貯蔵品	49,002
3 繰延資産	-
負債合計	4,510,016
1 固定負債	2,289,939
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,217,448
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	40,000
(6) 引当金	32,491
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	714,436
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	408,414
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	137,643
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	163,002
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,505,641
(1) 長期前受金	4,549,077
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,043,436
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,642,771
1 資本金	973,920
2 剰余金	1,668,851
(1) 資本金剰余金	172,742
(2) 利益剰余金	1,496,109
負債・資本合計	7,152,787
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	177,213	177,213
資本勘定繰入	148,707	150,087
計	325,920	327,300

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	北杜市		
病院名	甲陽病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,220 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	17	指定病院の状況	救感輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	86	43.8	56.4	46.3
療養	32	96.1	78.9	83.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	310.3	-	60.2
計	122	66.3	60.5	56.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.1	12.6	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	44,053	
決算規模(千円)	31,069,943	
標準財政規模(千円)	19,822,955	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	83.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,654,927			
1 経常収益	2,064,420			
(1) 医業収益	1,839,074			
(うち修正医業収益)	1,767,536			
入院収益	1,078,921			
外来収益	617,450			
診療収入計	1,696,371			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	142,703			
(うち他会計負担金)	71,538			
(2) 医業外収益	225,346			
(うち国・都道府県補助金)	3,250			
(うち他会計補助・負担金)	109,198			
(うち長期前受金戻入)	108,900			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	590,507			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,867,980			
2 経常費用	1,867,980			
(1) 医業費用	1,786,867			
職員給与費	933,315	50.7	59.4	67.0
材料費	325,523	17.7	26.1	18.2
(うち薬品費)	192,013	10.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	133,505	7.3	11.8	9.4
減価償却費	151,589	8.2	8.7	10.2
経費	373,088	20.3	22.1	28.8
(うち委託料)	197,354	10.7	11.7	13.2
研究研修費	1,940			
資産減耗費	1,412			
(2) 医業外費用	81,113			
(うち支払利息)	16,805	0.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	196,440			
純損益	786,947			
累積欠損金	-			
経常収支比率	110.5		103.3	104.5
医業収支比率	102.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	98.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	9.8		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	6.8		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	100.8		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,152,787
1 固定資産	3,540,303
(1) 有形固定資産	3,408,435
(2) 無形固定資産	531
(3) 投資その他の資産	131,337
2 流動資産	3,612,484
(1) 現金及び預金	2,296,190
(2) 未収金及び未収収益	1,265,932
(3) 貸倒引当金()	16,943
(4) 貯蔵品	49,002
3 繰延資産	-
負債合計	4,510,016
1 固定負債	2,289,939
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,217,448
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	40,000
(6) 引当金	32,491
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	714,436
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	408,414
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	137,643
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	163,002
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,505,641
(1) 長期前受金	4,549,077
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,043,436
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,642,771
1 資本金	973,920
2 剰余金	1,668,851
(1) 資本剰余金	172,742
(2) 利益剰余金	1,496,109
負債・資本合計	7,152,787
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	180,736	180,736
資本勘定繰入	88,472	90,632
計	269,208	271,368

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	上野原市				
病院名	上野原市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,542 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	135	49.8	48.6	45.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	135	49.8	48.6	45.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	15.4	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	22,669	
決算規模(千円)	12,397,370	
標準財政規模(千円)	7,543,664	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	87.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	25.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	246,244			
1 経常収益	246,210			
(1) 医業収益	45,540			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	45,540			
(うち他会計負担金)	45,540			
(2) 医業外収益	200,670			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	186,195			
(うち長期前受金戻入)	13,799			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	34			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	361,907			
2 経常費用	361,907			
(1) 医業費用	359,697			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	138,906	305.0	8.7	10.2
経費	219,576	482.2	22.1	28.8
(うち委託料)	203,027	445.8	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	1,215			
(2) 医業外費用	2,210			
(うち支払利息)	2,210	4.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	-115,697			
純損益	-115,663			
累積欠損金	115,663			
経常収支比率	68.0		103.3	104.5
医業収支比率	12.7		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	94.1		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	508.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	94.1		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	4.0		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,471,834
1 固定資産	2,240,390
(1) 有形固定資産	2,210,923
(2) 無形固定資産	1,301
(3) 投資その他の資産	28,166
2 流動資産	231,444
(1) 現金及び預金	229,852
(2) 未収金及び未収収益	1,592
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,397,520
1 固定負債	799,093
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	799,093
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	90,223
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	88,615
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,236
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	508,204
(1) 長期前受金	882,882
(2) 長期前受金収益化累計額()	374,678
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,074,314
1 資本金	1,167,816
2 剰余金	-93,502
(1) 資本剰余金	14,061
(2) 利益剰余金	-107,563
負債・資本合計	2,471,834
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	231,735	231,735
資本勘定繰入	42,784	42,784
計	274,519	274,519

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	254.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	甲州市				
病院名	勝沼病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,991 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	157	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	39	64.6	62.6	51.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	39	64.6	62.6	51.0
平均在院日数(一般病床のみ)		47.1	47.1	47.8

設立団体の状況		
人口(人)	29,237	
決算規模(千円)	21,461,188	
標準財政規模(千円)	10,246,752	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	90.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.2
	将来負担比率(%)	61.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,018			
1 経常収益	21,018			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	21,018			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	16,934			
(うち長期前受金戻入)	4,084			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,867			
2 経常費用	20,867			
(1) 医業費用	19,711			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	17,883	-	8.7	12.7
経費	1,828	-	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,156			
(うち支払利息)	664	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	151			
純損益	151			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.7		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	80.6		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	80.6		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	19.6		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	524,698
1 固定資産	457,445
(1) 有形固定資産	391,093
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	66,352
2 流動資産	67,253
(1) 現金及び預金	67,253
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	81,839
1 固定負債	34,414
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	34,414
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	5,704
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,704
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	41,721
(1) 長期前受金	102,266
(2) 長期前受金収益化累計額()	60,545
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	442,859
1 資本金	354,507
2 剰余金	88,352
(1) 資本剰余金	66,352
(2) 利益剰余金	22,000
負債・資本合計	524,698
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	14,193	16,934
資本勘定繰入	1,723	1,723
計	15,916	18,657

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			山梨県
市町村・組合名	身延町早川町国民健康保険病院一部組合		
病院名	飯富病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,995 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	11	指定病院の状況	救臨へ輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	61	42.1	50.5	56.3
療養	26	79.4	84.9	90.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	87	53.3	60.8	66.6
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	21.7	23.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,662,764			
1 経常収益	1,662,764			
(1) 医業収益	972,887			
(うち修正医業収益)	972,887			
入院収益	494,004			
外来収益	450,587			
診療収入計	944,591			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	28,296			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	689,877			
(うち国・都道府県補助金)	252,562			
(うち他会計補助・負担金)	81,132			
(うち長期前受金戻入)	38,595			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,712,513			
2 経常費用	1,712,513			
(1) 医業費用	1,249,173			
職員給与費	648,800	66.7	59.4	76.5
材料費	196,920	20.2	26.1	14.9
(うち薬品費)	101,432	10.4	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	92,149	9.5	11.8	6.4
減価償却費	108,777	11.2	8.7	11.5
経費	273,897	28.2	22.1	32.6
(うち委託料)	76,202	7.8	11.7	14.8
研究研修費	1,120			
資産減耗費	19,659			
(2) 医業外費用	463,340			
(うち支払利息)	9,338	1.0	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-49,749			
純損失	-49,749			
累積欠損金	334,229			
経常収支比率	97.1		103.3	101.5
医業収支比率	77.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	77.9		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	4.9		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	4.9		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	92.4		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,463,847
1 固定資産	2,477,779
(1) 有形固定資産	2,429,429
(2) 無形固定資産	5,591
(3) 投資その他の資産	42,759
2 流動資産	986,068
(1) 現金及び預金	272,070
(2) 未収金及び未収収益	300,120
(3) 貸倒引当金()	1,781
(4) 貯蔵品	6,485
3 繰延資産	-
負債合計	1,342,831
1 固定負債	362,590
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	355,614
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	6,976
2 流動負債	573,928
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,541
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	62,800
(6) リース債務	4,771
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	32,403
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	406,313
(1) 長期前受金	1,129,577
(2) 長期前受金収益化累計額()	723,264
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,121,016
1 資本金	2,449,497
2 剰余金	-328,481
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-328,481
負債・資本合計	3,463,847
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	219,218	81,132
資本勘定繰入	24,285	24,285
計	243,503	105,417

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	峡南医療センター企業団		
病院名	市川三郷病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	5,842 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	12	指定病院の状況	救臨へ輪
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	90	28.1	25.7	25.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	28.1	25.7	25.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	13.8	16.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,498,037			
1 経常収益	1,497,110			
(1) 医業収益	934,523			
(うち修正医業収益)	933,954			
入院収益	257,869			
外来収益	621,927			
診療収入計	879,796			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	54,727			
(うち他会計負担金)	569			
(2) 医業外収益	562,587			
(うち国・都道府県補助金)	6,353			
(うち他会計補助・負担金)	172,200			
(うち長期前受金戻入)	68,729			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	927			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,591,664			
2 経常費用	1,591,544			
(1) 医業費用	1,152,111			
職員給与費	615,359	65.8	59.4	76.5
材料費	193,814	20.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	118,389	12.7	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	75,276	8.1	11.8	6.4
減価償却費	69,073	7.4	8.7	11.5
経費	272,184	29.1	22.1	32.6
(うち委託料)	148,495	15.9	11.7	14.8
研究研修費	1,681			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	439,433			
(うち支払利息)	2,691	0.3	1.0	1.3
(3) 特別損失	120			
損益	経常損益	-94,434		
	純損益	-93,627		
累積欠損金	957,083			
経常収支比率	94.1		103.3	101.5
医業収支比率	81.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	81.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.5		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	18.5		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	11.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	83.2		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,725,933
1 固定資産	2,298,650
(1) 有形固定資産	2,208,868
(2) 無形固定資産	42,365
(3) 投資その他の資産	47,417
2 流動資産	2,427,283
(1) 現金及び預金	1,211,718
(2) 未収金及び未収収益	1,172,486
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	43,034
3 繰延資産	-
負債合計	3,349,636
1 固定負債	1,499,189
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	884,450
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	493,509
(6) 引当金	121,230
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,026,502
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	245,013
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	21,666
(5) 引当金	154,812
(6) リ一ス債務	186
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	575,203
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	823,945
(1) 長期前受金	2,508,478
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,684,533
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,376,297
1 資本金	333,008
2 剰余金	1,043,289
(1) 資本金剰余金	380,034
(2) 利益剰余金	663,255
負債・資本合計	4,725,933
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	183,098	172,769
資本勘定繰入	26,826	117,150
計	209,924	289,919

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	峡南医療センター企業団		
病院名	富士川病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	12,893 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	12	指定病院の状況	救臨 感 災 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	154	52.8	58.1	61.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	144.9	38.4	45.1
計	158	55.1	57.6	60.9
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	12.3	13.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,919,113			
1 経常収益	3,917,466			
(1) 医業収益	2,374,711			
(うち修正医業収益)	2,370,769			
入院収益	1,386,521			
外来収益	671,495			
診療収入計	2,058,016			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	316,695			
(うち他会計負担金)	3,942			
(2) 医業外収益	1,542,755			
(うち国・都道府県補助金)	646,143			
(うち他会計補助・負担金)	288,318			
(うち長期前受金戻入)	105,831			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,647			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,342,504			
2 経常費用	3,342,291			
(1) 医業費用	2,671,070			
職員給与費	1,506,599	63.4	59.4	67.0
材料費	439,009	18.5	26.1	18.2
(うち薬品費)	164,587	6.9	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	274,422	11.6	11.8	9.4
減価償却費	99,831	4.2	8.7	10.2
経費	622,827	26.2	22.1	28.8
(うち委託料)	279,271	11.8	11.7	13.2
研究研修費	2,804			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	671,221			
(うち支払利息)	682	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	213			
損益	575,175			
純損益	576,609			
累積欠損金	-			
経常収支比率	117.2		103.3	104.5
医業収支比率	88.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	88.8		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	108.5		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,725,933
1 固定資産	2,298,650
(1) 有形固定資産	2,208,868
(2) 無形固定資産	42,365
(3) 投資その他の資産	47,417
2 流動資産	2,427,283
(1) 現金及び預金	1,211,718
(2) 未収金及び未収収益	1,172,486
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	43,034
3 繰延資産	-
負債合計	3,349,636
1 固定負債	1,499,189
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	884,450
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	493,509
(6) 引当金	121,230
(7) 一 負債	-
2 流動負債	1,026,502
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	245,013
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	21,666
(5) 引当金	154,812
(6) リ 一 負債	186
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	575,203
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	823,945
(1) 長期前受金	2,508,478
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,684,533
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,376,297
1 資本金	333,008
2 剰余金	1,043,289
(1) 資本金剰余金	380,034
(2) 利益剰余金	663,255
負債・資本合計	4,725,933
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	337,075	292,260
資本勘定繰入	40,296	82,355
計	377,371	374,615

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。